

I 講演「地域をつなぐ平和の活動」

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷和生

1 はじめに ～戦後77年の諸相～

- 戦後世代としての「私の視点」～近現代考古学との出会い～
- 戦争遺跡保存全国ネットワーク全国運営委員、空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会世話人、熊本県内「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局
- 『くまもとの戦争遺産 ～戦後75年 平和を祈って～』第42回熊日出版文化賞最優秀賞受賞、第34回地方出版文化功労賞最優秀賞受賞

2 熊本の戦争遺跡・遺産

MAP『くまもと戦争遺産ガイドマップ』 ※希望者のみ

(1) 戦争遺跡とは

- 全国の戦争遺跡は「約50,000」件、指定登録は「342件」件（前年319件・2022年8月現在）
- 熊本県内の太平洋戦争期の戦争遺跡総数は、多数の特殊地下壕を含めた「723件」
- 『くまもとの戦争遺産』内の一覧表には「224件」を精査し記載
- 熊本県内の指定登録文化財は国148件、県383件、市町村3,382件、国登録文化財156件の計2,382件。



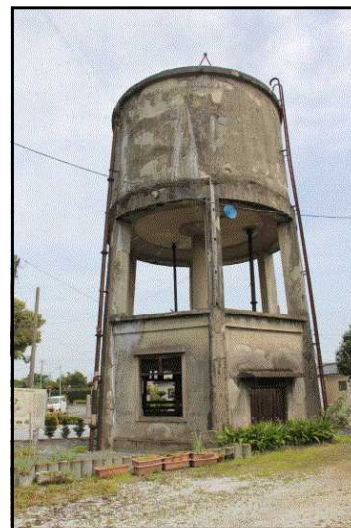
旧玉名市役所裏の特殊地下壕入口

(2) 西南戦争期の指定等

西南戦争遺跡群（国指定、熊本市・玉東町）、明徳官軍墓地（熊本市）、七本官軍墓地（熊本市）、花崗山陸軍埋葬地（熊本市）、旧輜重兵六聯隊衛兵所（熊本市）、有栖川の宮御督戦の地（玉東町）、篠原国幹戦傷の地（玉東町）、城の原官軍墓地（南関町）、肥猪町官軍墓地（南関町）、陣内官軍墓地（水俣市）、下岩官軍墓地（和水町）、高瀬官軍墓地（玉名市）、田浦官軍墓地（芦北町）、峰崎官軍墓地（芦北町）の計14件

(3) 太平洋戦争期の指定等

「花房飛行場給水塔」（陸軍菊池飛行場高架水槽・菊池市指定有形文化財）、「永山の掩体壕」（陸軍人吉秘匿飛行場木製有蓋掩体壕・球磨郡あさぎり町登録文化財建造物）の2件。また、合志市の「黒石原飛行場奉安殿」は、保存修復事業を進めており、完了後に合志市指定文化財となる予定。荒尾市所有「荒尾二造変電所」



菊池市指定文化財「花房飛行場給水塔」菊池飛行場

(4) 熊本の「戦争の歴史」をたどる

～熊本に残された戦争の傷跡「七大特徴」～

①軍都熊本の軍事施設

～熊本城から東部の大江・渡鹿地区への軍施設の移転～

②九州で三番目に多い陸海軍飛行場

～正規飛行場、本土決戦に向けての特攻秘匿飛行場～

③東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所

～軍直営で石炭を原料とした黄色火薬の生産～

④三菱重工業熊本航空機製作所と学校工場・地下工場

～陸軍四式重爆撃機「飛龍」の生産～

⑤本土決戦に向けての天草地区砲台、震洋等の特攻艇基地と

兵站基地としての人吉地区の飛行場・地下工場・地下壕群

⑥県内各地に残る空襲・戦災の「被害の歴史」

⑦朝鮮人や中国人、連合軍俘虜労働者、敵機捕獲搭乗員への「加害の歴史」

3 地域をつなぐ

『大浜飛行場』、『大浜飛行場 II』参照

(1) 「大浜町まちづくり委員会」とつなぐ!!

ア 大浜飛行場の調査、地元からの証言聞き取り、新たな米軍資料の発見、発掘調査

- 日常から、**地元証言**を聞き取る！**掘り起こす！**
- 大型・小型格納庫基礎部、正門・浴場の**測量と復原**
- 米国国立公文書館**からの極東航空軍等の偵察写真データの入手
- 開発で壊される「**大型格納庫基礎遺構**」発掘調査への支援

イ 破損した「正門復元」と飛行場木製復原看板の設置、正門横への案内看板の設置、公民館への大浜飛行場MAP・大型説明板の設置

- 破損した「**正門**」復元と「陸軍大刀洗飛行学校玉名教育隊」銘の木製復原看板の設置 →→**飛行場シンボル**
- 地域理解を願い「各遺構への小型案内看板」、公民館横への大型説明板・MAPの設置。→→**見学コースの設定**



三の岳上空で訓練中の玉名教育隊「ユングマン」機

ウ 地域学習「玉名学」等への支援、出前平和講座での広がり

- 地元「**有明中学校・大浜小学校地域学習（玉名学）**」への支援、フィールドワーク実施
- さらに玉名市内諸学校「**玉名町小学校・睦合小学校等**」への「**出前平和講座の広がり**」

(2) 「県内戦跡保存団体」とつなぐ!! ※『荒尾二造』二種の配布はなし 『菊池飛行場を活写する』、『菊地の空から』、『黒石原飛行場と奉安殿』参照

ア 「荒尾二造市民の会」、「菊池飛行場の戦争遺産を未来につたえる会」、「合志の近代遺産を学ぶ会」他

- 会設立時への支援・連携。啓発リーフレット発行
- 火薬庫・分析室・変電所跡の測量調査、給水塔・油倉庫・正門他
の測量調査、奉安殿の測量調査他
- 財務省所管「**荒尾二造変電所跡**」の荒尾市により買い取り実現
- 「**花房飛行場給水塔**」の菊池市有形文化財への指定実現
- 合志市による「**黒石原飛行場奉安殿**」敷地等の買い取り実現

イ 連絡組織「戦争遺産フォーラムくまもと」設立

- 県内各団体の連絡組織として「**お互いの姿と活動が見える!**」
- 戦後70年 平和講演会「米軍資料から熊本空襲を考える」開催
- 熊日・RKK・熊本市「戦後70年 平和のバトン展」への協力



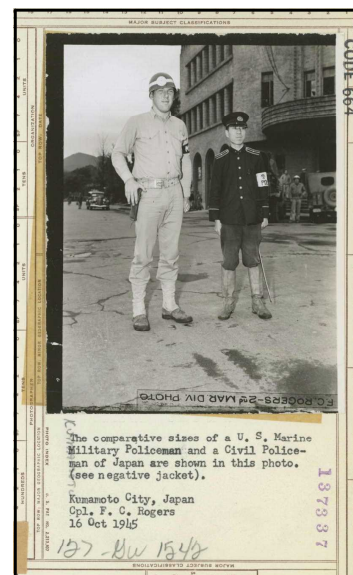
復元された玉名教育隊正門と木製銘看板、説明板

(3) 「全国の団体・個人」とつなぐ!!

- 『軍都熊本の残像』、『空襲下の熊本』、『進駐軍の見た熊本』
- 「**第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会**」の開催
- 「**第3回空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会玉名集会**」の開催



左：1945年8月10日米軍機による迎町・本荘周辺への攻撃
中：健軍飛行場で接收を受ける「飛龍」長崎ケーブルメディア映像より
右：「熊本市公会堂の米兵MPと日本人巡査」
進駐軍軍政部のおかれた熊本市公会堂（現市民会館）前で
交通整理中の日本警官・オメダアラタ氏と米MPのハンター氏。
撮影は「F.C.Rogers」、所属は「2nd MAR. DIV. PH
OTO」班



5 まとめ ～一人ひとりが戦争遺跡・遺産と向き合い、地域をつなぐ!～

- (1) 戦争遺跡、米軍資料、地域での証言掘り起こし等の「**継続した調査**」
- (2) 「戦争遺跡・遺産の保護」そして継承・活用
貴重な近現代の歴史資料として「**国民共有の財産“文化財”**」
- (3) 関わる協働活動は、「**地域をつなぐ平和の学び**」

□フィールドワーク (15:00~16:30)

※旭町公民館に15時集合。現地解散

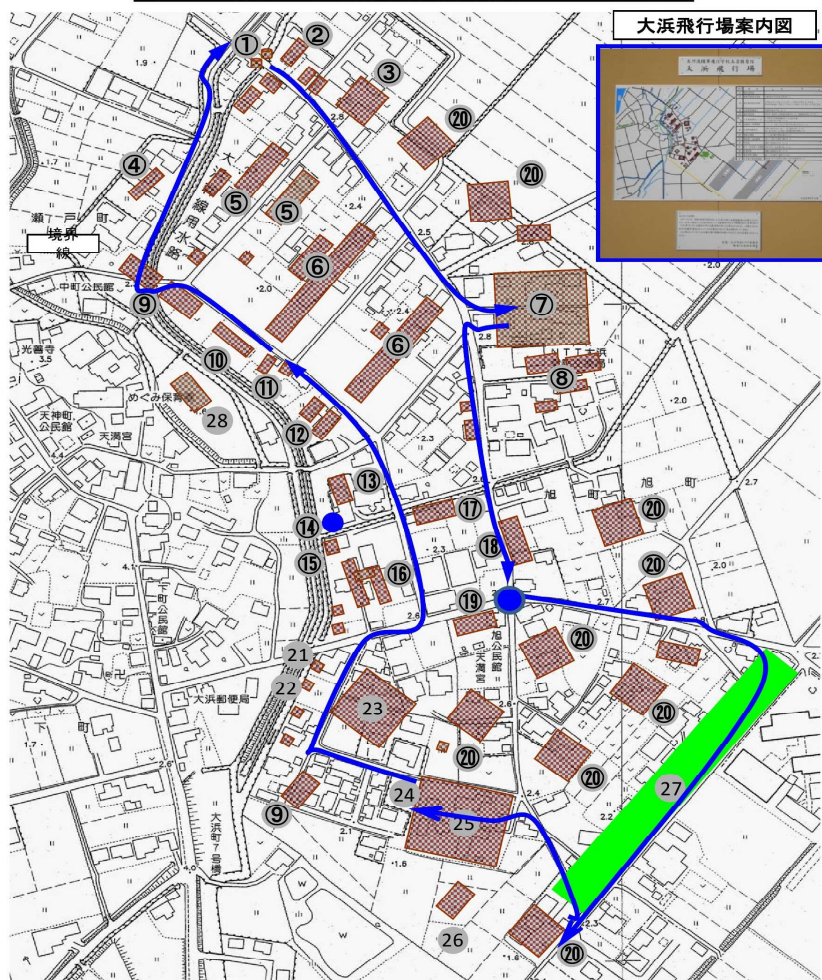
Ⅱ フィールドワーク「大浜飛行場跡」

ガイド くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 戸寄孝行・末永 崇・本田涼子

玉名市大浜町には、太平洋戦争時に建設されたパイロット養成のための飛行場施設の
一部が残っています。

本日は、その施設跡を巡るフィールドワークを実施します。

『大浜飛行場』各施設の配置図



①正門 ②衛兵詰所跡 ③面会所跡 ④航空準備本部跡 ⑤陸軍守備隊兵舎跡 ⑥航空教育隊兵舎跡 ⑦
大型格納庫跡 ⑧航空本部跡 ⑨倉庫跡 ⑩炊事場跡 ⑪酒保(集会所)跡 ⑫医務所跡 ⑬浴場跡 ⑭井
戸 ⑮給水塔跡 ⑯食堂跡 ⑰士官集会所跡 ⑱車庫跡 ⑲整備班跡 ⑳小型格納庫跡
㉑弾薬庫跡 ㉒燃料庫跡 ㉓整備修理工場跡 ㉔空襲の傷跡 ㉕大型格納庫 ㉖エンジン整備庫跡
㉗待機所・準備線跡 ㉘航隊寮 注:下線付き太字で記載の施設は建物の一部が現存しています

☆見学ルート

集合場所: (旭町公民館/⑲整備班跡) ⇒出発

⇒㉗待機所⇒㉔小型格納庫跡(井戸あり)⇒㉕大型格納庫⇒㉔空襲の傷跡⇒
⇒㉓整備修理工場跡⇒㉑弾薬庫跡⇒⑯食堂跡⇒⑫医務所跡⇒⑪酒保跡⇒
⇒①正門⇒㉕大型格納庫跡⇒旭町公民館に戻ります



問い合わせ先

市民グループ くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

□〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

事務局・代表 高谷和生方

□携帯 090-1513-5528

□メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp

□HP <https://kumamoto-senseki.net/>